

「ゴム移転協定」の成立を許すな！

住民には本当のことを知らせず「協定」に署名してしまふやり方は卑怯です。

各地から「ひどい内容だ。これでは本当の信頼は生まれない」、「この不況下で、巨大な財政支出をするとはどういうことか?」、「強制的に沖縄県民から奪って建設した基地は返さないのか?」、



▲「米軍基地内で環境に配慮せず造成工事しているのはおかしい、普天間基地からの移設関連工事ではないのか?」と住民らが話し合いを求めた。しかしドアを閉じて話し合いに応じない沖縄防衛局員＝2月6日午後、嘉手納町で。

「さらに新たな基地を要求するとは、『詐欺的な手法』だ」などの声が寄せられています。さらに「環境影響評価（アセス）もきちんとしないで、環境破壊するのはあんまり」、「海を埋め立てるのは県知事に許認可権があるはずだ。勝手に政府間で『協定』してしまって、それを住民に押しつけるとはなにごとか!」という声も上がっています。

去る7月18日の県議会決議に応じて、「辺野古の基地建設断念署名」（国会請願）が約13万筆も集まっています。すでに48,800筆以上を衆参議長あてに提出しました。

沖縄・名護市の漁民から：われわれウミンチュ〔海人〕は、古くから大浦の海とともに暮らしてきました。今でも多数の仲間が潜り漁や刺し網漁を生活の糧として働いています。シュワブ沿岸・大浦湾海域は藻場が発達し、あらゆる魚の産卵場所となっています。またセリ市場で高値で取引されるシラヒゲウニの生息場所でもあります。サンゴや藻場を破壊したらどうなるか、ウミンチュが一番知っています。

集会会場：地下鉄有楽町線・半蔵門線・南北線の永田町から徒歩3分、千代田線の国会議事堂から徒歩5分、溜池山王から徒歩5分、丸ノ内線の赤坂見附から徒歩7分

▼長官と大臣だけで協定に合意＝
2月17日午前、外務省で

